

広島市で「電波の安全性に関する説明会」を開催！

中国総合通信局(局長:黒瀬 泰平)は、平成28年3月9日(水)、広島市中区の広島マツダビルにおいて、本年度2回目の「電波の安全性に関する説明会」を開催しました。今回の説明会では、電波の健康リスクへの取組や携帯電話等の電波が医療機器に及ぼす影響など、最新の国際動向などについて、2名の専門家をお招きし、ご説明いただきました。

はじめに、中国総合通信局 村田電波監理部長から「社会のインフラを支えている存在が電波。その一方で、電波は人体に好ましくない影響を与えるのではないかと不安の声も聞かれる。本日の説明会で、電波に関する正しい知識と総務省の取組を御理解していただきたい。」と挨拶しました。

最初に、一般財団法人電気安全環境研究所 電磁界情報センター所長 大久保氏から、電波が人体に及ぼす健康への影響(電波ばく露)をはじめ、WHOの見解を中心に、Wi-Fiや携帯電話からの健康リスク及び電磁波の影響に関し説明がありました。

続いて、国立大学法人佐賀大学大学院工学系研究科 教授 花田氏からは、医療現場での無線通信と電磁環境に関し、電波による医療機器への影響等について、総務省の指針を交え解説されました。特に、電波の性質と安全性の確保の両面から、病院で無線通信技術を安全に活用するための条件等についてユーモアを交えながら説明がありました。

説明会には、医療関係者、行政機関、通信事業者等から88名の参加があり、熱心に聴講されました。

中国総合通信局では、平成28年度も、電波の安全性や人体への影響等及び電波の正しい知識を普及するため、説明会を開催する予定です。



主催者挨拶 村田電波監理部長



説明1 電磁界情報センター
所長 大久保 千代次 氏



説明2 佐賀大学大学院工学系研究科
教授 花田 英輔 氏



熱心な聴講風景

お問い合わせ先：電波利用環境課 TEL082-222-3311